

# あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM '91 7月号

## 夏期特別展 「湘南のキノコ」

1991年7月20日～9月1日（月曜・月末は、休館日）

森の妖精、キノコたちの不思議な世界をのぞいてみよう！

### ●キノコにはいろいろな形のものがある

秦野市立西小学校の生徒の皆さんに、頭に思い浮かぶキノコの絵を書いてもらいました。ほとんどの人が書いたキノコの絵は、赤くて大きなカサがあってカサの上には白いぶつぶつがあるものでした。たしかに童話の本に出てくるキノコはだいたいそんな色と形をしています。これはテングタケというなかまのキノコをモデルにしたものでした。



しかし、森に行ってみると見つかるキノコの形はいろいろです。枝分かれしたもの、コップのようなもの、幹にべとっとはりついたもの、それぞれがみんなりっぱなキノコなのです。この特別展では、キノコの変化にとんだ色や形を見て頂きたいと思います。

### ●いちばん大きなキノコは？

神奈川県で見つかるキノコでいちばん大きな種類はニオウシメジです。昨年大和市で県内で4回目の発見がされました。300本ほどのキノコが束になった全体の重さはなんと40kgもありました。その一部が博物館に寄贈され、標本として保存されているので展示する予定です。

### ●記念講演会 博物館講堂・入場自由

8月4日（日）午後1時半～4時

「キノコをつくる」

講師：七宮清氏（神奈川キノコの会）

・エノキタケなどキノコの栽培についてのお話

### ●キノコはどこから生えてくる

キノコという名はもともと木に生えることから「木の子」の意味でつけられたようです。しかし、キノコは枯木に生えるだけではありません。キノコをどこから生えてくるかで大きく分けると次のようになります。

#### ・枯木に生えるキノコ

体がやわらかいキノコ

……シイタケ・ナメコ・キクラゲなど

体がかたいキノコ

……サルノコシカケ類など

#### ・地面に生えるキノコ

落葉や枯れ枝から生えるキノコ

……オチバタケ類など

樹木の根と共生して菌根を作るキノコ

……マツタケ・テングタケ類など

昆虫などに寄生するキノコ…冬虫夏草

どのキノコも枯れた植物などの有機物を分解して土にかえす役割を果たしています。

### ●毒キノコはすぐ分かる？

毒があるかどうかを簡単に調べる方法はありません。代表的な毒キノコをしっかり覚えるのがいちばんなようです。中毒の多い、クサウラベニタケをよく見てかえって下さい。

### ●キノコ鑑定会 博物館科学教室・入場自由

9月1日（日）午前10時～午後3時

講師：城川四郎氏（神奈川キノコの会）

・名前を知りたいキノコを上記の時間内に

自由にお持ち下さい。

長崎県雲仙普賢岳は6月3日に火碎流を発生し、多くの犠牲者を出し、今なお活発な活動を続けています。我々の生活している大地が生きている事をさまざまと見せつけられます。ここでは雲仙岳の噴火とそれに関連して箱根火山の活動についてみてみましょう。

#### ●雲仙岳の過去の火山活動

雲仙岳の活動は約25万年前に始まり、溶岩と火碎岩（火山礫・火山灰など）の互層からなる成層火山を形成し、妙見岳を作りました。約4000年前にこの成層火山の山頂部が爆発崩壊し、直径1.5kmの妙見岳カルデラが出現しました。現在活動を続ける普賢岳は、その後、カルデラ内に溶岩円頂丘として形成されたものです。普賢岳は歴史時代にも噴火を続け、1792（寛永4）年には北東に溶岩を流出し、2ヶ月後、大地震により眉山の溶岩円頂丘が大崩壊し、岩なだれとなって有明海に流れ込み、九十九島を作りました。この崩壊により発生した津波で、14500人の犠牲者がいました。

#### ●今回の雲仙岳噴火と火碎流流出

今回の噴火は、溶岩円頂丘の形成と火碎流の発生で特徴づけられます。火碎流は高温の溶岩塊と火山灰が、高温のガス体となって山体を流下するもので、溶岩の流れる速度に比べて極めて速く、時速100km以上に達します。6月3日の火碎流は、溶岩塊と火山灰からなる下部層と、熱風と火山灰からなる上部層に分けられるようで、上部層の火碎サージとよばれる部分は、高さ数十mの比高を乗り越えて襲い、多くの犠牲者を出しました。

#### ●箱根火山の火碎流

神奈川県の西部に位置する箱根火山も、過去に数多くの火碎流を流出しています。最も大規模なものは、約5万年前におこった箱根新期軽石流と呼ばれるもので、箱根火山から四方に噴出し、東方には大磯丘陵・秦野盆地・伊勢原台地をとおって相模川を横切り、相

模野台地にまで達しています。この火碎流は最も遠くで約50kmも流れ、普賢岳の火碎流が6kmなのに比べれば、その規模が如何に大きいかよくわかります。この火碎流の噴出により、箱根火山は大陥没を起こし、現在見られる直径10kmのカルデラが形成されました。

この火碎流堆積物は平塚市内では土屋遠藤原で厚さ10mもの地層として観察する事ができ、握りこぶし大の軽石や溶岩塊、炭化した木片などを多量に含んでおり、高温で良く発砲したマグマに由来することが知られます。

#### ●箱根火山の火山活動

箱根火山ではこのほか2900年前まで何回となく火碎流を噴出してきました。約3100年前に神山で起こった水蒸気爆発により山体が崩壊して仙石原付近に流下し、早川をせき止め、芦ノ湖が出現しました。博物館の屋外に展示してある箱根の神代杉はこの時の山崩れ堆積物から見いだされたものです。また、二子山や駒ヶ岳などのカルデラ内にある独立丘は、雲仙普賢岳と同じく溶岩円頂丘として過去1万年ほどの間に形成されたものです。

このように、箱根火山は現在ではほとんど活動はしていないようですが、3000年ほど前までは活発に火山活動をおこなっていた生きている火山なのです。



箱根新期火碎流からなる土屋遠藤原の台地



ボーデの星図にあること座の星座絵



夏の夜空を飾る代表的な恒星といえば、空高く純白に輝くこと座の一等星ベガでしょう。この星は中国や日本で言う「織女星（おりひめぼし）」にあたります。古来人々は星の神秘的な輝きから多くの伝説を生みだし、また逆に星座の形を見てすでに知られている神話をあてはめたりしてきました。現在の星座の礎を築いたギリシャでは、この星座を神話の詩人オルペウスの琴が天にのぼったものと見ました。

オルペウスは琴の名手で、その歌声には「木石をも動かす」力がありました。彼は森のニンフ（妖精）エウリディケーを妻にしましたが、それから間もないある日、エウリディケーは毒蛇にかまれて若い命を落してしまいました。

ギリシャ神話の世界では死者は大地の底にあるハーデス（全能の神ゼウスの弟でオリンポス十二神の一人）の国に行きます。しかし、人間は自由に行き来することができないのが神々の定めたおきてでした。「もう一度だけエウリディケーに会わせてください。」オルペウスはおきてを破るのを承知でただひとり冥界へ向かいます……

この話はローマの詩人ウェルギリウスの「農耕詩」やオウィディウスの「転身物語」に詳しく描かれています。七夕伝説に劣らず美しくせつないギリシャの星物語を味わってみてください。同じひとつの星にまつわるまったく別の話があること、そしてまったく別の話なのにどこか通じるところがあるのを感じいただければさいわいです。



投 影 日 休館日を除く水木土日曜日

(絵 仲野貴子)

11:00 14:00 投影開始（途中入場はできません）

水木土11:00は団体予約を優先する場合があります

所要時間 約45分

観 覧 料 100 円

定 員 86 名

\*乳幼児の観覧はご遠慮下さい。

\*団体予約は10日前までにお願いします。

(各回とも毎日の星空と「こと座物語」を投影します。)



《行 事 案 内》

7月の行事予定			8月の行事予定		
6	土	ナチュラリスト講座	1	木	みんなで調べよう
7	日	漂着物を拾う会（葉山方面） 相模川の生き立ちを探る会 (金目)	3	土	漂着物を拾う会※6時平塚海岸 土曜観察会 星を見る会
13	土	漂着物を拾う会※6時平塚海岸 古文書講読会 土曜観察会	4	日	相模川の生き立ちを探る会 特別展講演「キノコをつくる」
14	日	自然観察会（大山）	6(火) 7(水) 教員対象野外研修講座		
20	土	平塚の空襲と戦災を記録する会	10	土	古文書講読会 石仏を調べる会 星を見る会
21	日	相模川を歩く会（田名）	13, 14の 両日		自然観察入門講座（化石調べ） 天体観察会「スター・ウォッチング」
24	水	みんなで調べよう（ガバソス）	15	木	自然観察会
26	金	夏休み自由研究相談会 10:00～	16	金	自然観察入門講座（化石調べ）
27	土	古文書講読会 土曜観察会 体験学習「実体鏡をつくろう」	17	土	平塚の空襲と戦災を記録する会 星を見る会
28	日	石仏を調べる会	20	火	自然観察会
~7/30 寄贈品コーナー 「新資料展」（自然部門） 8/1~9/17 「教育資料展」（歴史部門） ~7/14 プラネタリウム 「ボイジャーが見た海王星・天王星」 7/20~9/1 プラネタリウム 「こと座物語」 ~7/10 幼児投影期間（園児団体投影） 7/20~9/1 夏季特別展「湘南のキノコ」			21	水	夏休み自由研究相談会13:00～
			23	金	体験学習「草木染め」
			24	土	古文書講読会 土曜観察会 星を見る会
			25	日	相模川を歩く会（まとめ）
			28	水	みんなで調べよう



「あなたと博物館」16巻4号 通巻178号 印刷 平塚市総務部総務課文書係 ©3000  
発行 平塚市博物館 〒254 平塚市浅間町12-41 TEL33-5111